

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|------------------------|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 294 2386 426"> <tr> <td>日本原子力研究開発機構</td> <td>文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="2">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td>制定日:2006年11月30日</td> <td>改訂日:2022年3月10日</td> <td>改訂番号:19</td> </tr> </table> <div data-bbox="1822 457 2169 722" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1715 758 2110 785" style="text-align: center;">品質マネジメントシステム文書体系図</p> <p data-bbox="1466 827 1798 852">4.2.2 品質マネジメント計画書</p> <p data-bbox="1466 856 2347 915">理事長は、次の事項を含む本品質マネジメント計画書を策定し、必要に応じ見直し、維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1516 919 2169 945">(a) 品質マネジメントシステムの適用範囲 (適用組織を含む。) <li data-bbox="1516 949 2080 974">(b) 保安活動の計画、実施、評価、改善に関する事項 <li data-bbox="1516 978 2190 1003">(c) 品質マネジメントシステムのために作成した文書の参照情報 <li data-bbox="1516 1008 2101 1033">(d) 品質マネジメントシステムのプロセス間の相互関係 <p data-bbox="1466 1079 1644 1104">4.2.3 文書管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1495 1108 2362 1230">(1) 安全管理部長、契約部長、統括監査の職、所長、部長及び課長は、品質マネジメントシステムで必要とされる文書を管理し、次の事項を含め、不適切な使用又は変更を防止する。ただし、記録となる文書は、「4.2.4 記録の管理」に規定する要求事項に従って管理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1516 1234 1893 1260">(a) 文書の組織外への流出等の防止 <li data-bbox="1516 1264 2362 1323">(b) 品質マネジメント文書の発行及び改訂に係る審査の結果、当該審査の結果に基づき講じた措置並びに当該発行及び改訂を承認した者に関する情報の維持 <li data-bbox="1495 1327 2362 1449">(2) 安全管理部長は、本部の「文書及び記録管理要領」を定め、所長は大洗研究所の「大洗研究所文書及び記録の管理要領」を定め、研究所の部長は、各部の文書及び記録の管理要領を定める。これらの管理要領には、次に掲げる業務に必要な管理の手順を規定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1516 1453 2338 1478">(a) 発行前に、適切かどうかの観点から文書の妥当性をレビューし、承認する。 <li data-bbox="1516 1482 2347 1541">(b) 文書は定期的に改訂の必要性についてレビューする。また、改訂する場合は、文書作成時と同様の手続で承認する。 <li data-bbox="1516 1545 2362 1604">(c) 文書の妥当性のレビュー及び見直しを行う場合は、対象となる実施部門の要員を参加させる。 <li data-bbox="1516 1608 2199 1633">(d) 文書の変更内容の識別及び最新の改訂版の識別を確実にする。 <li data-bbox="1516 1638 2362 1696">(e) 該当する文書の最新の改訂版又は適切な版が、必要なときに、必要なところで使用可能な状態にあることを確実にする。 <li data-bbox="1516 1701 2318 1726">(f) 文書は、読みやすくかつ容易に識別可能な状態であることを確実にする。 <li data-bbox="1516 1730 2362 1755">(g) 品質マネジメントシステムの計画及び運用のために組織が必要と決定した外 <p data-bbox="1911 1808 1941 1833" style="text-align: center;">5</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1489 306 2380 436"> <tr> <td data-bbox="1489 306 1935 344">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1935 306 2380 344">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1489 344 2380 390">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1489 390 1786 436">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1786 390 2083 436">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2083 390 2380 436">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1537 474 2356 625"> 部からの文書を明確にし、その配付が管理されていることを確実にする。 (h) 廃止文書が誤って使用されないようにする。また、これらを何らかの目的で保持する場合には、適切に識別し、管理する。 (i) 文書の改訂時等の必要な時に文書作成時に使用した根拠等が確認できるようにする。 </p> <p data-bbox="1466 659 2356 970"> 4.2.4 記録の管理 (1) 安全管理部長、契約部長、統括監査の職、所長、部長及び課長は、要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの効果的運用の証拠を示すために作成する記録の対象を明確にし、管理する。 (2) 安全管理部長は、本部の「文書及び記録管理要領」を定め、所長は、大洗研究所の「大洗研究所文書及び記録の管理要領」を定め、部長は、各部の文書及び記録の管理要領を定め、次に掲げる管理の手順を規定する。 (a) 記録の識別、保管、保護、検索の手順、保管期間及び廃棄に関する管理を行う。 (b) 記録は、読みやすく、容易に識別可能かつ検索可能とする。 </p> <p data-bbox="1466 1003 2356 1495"> 5. 経営者等の責任 5.1 経営者の関与 理事長は、原子力の安全のためのリーダーシップを発揮し、責任を持って品質マネジメントシステムの構築、実施及びその有効性を継続的に改善していることを実証するために、次の事項を行う。 (1) 品質方針を設定する（「5.3 品質方針」参照）。 (2) 品質目標が設定されていることを確実にする（「5.4.1 品質目標」参照）。 (3) 要員が、健全な安全文化を育成し、維持する取組に参画できる環境を整える。 (4) マネジメントレビューを実施する（「5.6 マネジメントレビュー」参照）。 (5) 資源が使用できることを確実にする（「6. 資源の運用管理」参照）。 (6) 関係法令・規制要求事項を遵守すること及び原子力の安全を確保することの重要性を、組織内に周知する。 (7) 保安活動に関して、担当する業務について理解し、遂行する責任を持つことを要員に認識させる。 (8) 全ての階層で行われる決定が、原子力の安全の確保について、優先順位及び説明する責任を考慮して確実に行われるようにする。 </p> <p data-bbox="1466 1528 2356 1684"> 5.2 原子力の安全の重視 理事長は、原子力の安全の確保を最優先に位置付け、組織の意思決定の際には、業務・廃棄物管理施設に対する要求事項（「7.2.1 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項の明確化」及び「8.2.1 組織の外部の者の意見」参照）に適合し、かつ、原子力の安全がその他の事由によって損なわれないようにすることを確実にする。 </p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | <p data-bbox="1905 1801 1935 1831" style="text-align: center;">6</p> |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1489 304 2383 436"> <tr> <td data-bbox="1489 304 1935 342">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1935 304 2383 342">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1489 342 2383 388">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1489 388 1789 426">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1789 388 2089 426">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 388 2383 426">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1463 472 1617 499">5.3 品質方針</p> <p data-bbox="1463 504 2368 655">理事長は、次に掲げる事項を満たす「原子力安全に係る品質方針」を設定する。これには、安全文化を育成し維持することに関するもの（技術的、人的及び組織的要因並びにそれらの間の相互作用が原子力の安全に対して影響を及ぼすものであることを考慮し、組織全体の安全文化のあるべき姿を目指して設定していること。）及び施設管理に関する方針を含む。</p> <ol data-bbox="1489 659 2368 844" style="list-style-type: none"> (1) 組織の目的及び状況に対して適切である。 (2) 要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善に対して責任を持って関与することを含む。 (3) 品質目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。 (4) 組織全体に伝達され、理解される。 (5) 品質マネジメントシステムの継続的な改善に責任を持って関与することを含む。 <p data-bbox="1463 879 1573 907">5.4 計画</p> <p data-bbox="1463 911 1638 938">5.4.1 品質目標</p> <ol data-bbox="1489 942 2368 1341" style="list-style-type: none"> (1) 理事長は、安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長に、毎年度、品質目標（業務・廃棄物管理施設に対する要求事項を満たすために必要な目標（「7.1 業務の計画」(4) (b) 参照）を含む。）を設定されていることを確実にする。 また、保安活動の重要度に応じて、次の事項を含む品質目標を達成するための計画（「7.1 業務の計画」(4) 参照）が作成されることを確実にする。 <ol data-bbox="1516 1129 1780 1278" style="list-style-type: none"> (a) 実施事項 (b) 必要な資源 (c) 責任者 (d) 実施事項の完了時期 (e) 結果の評価方法 (2) 品質目標は、その達成度が判定可能で、品質方針と整合がとれていることを確実にする。 <p data-bbox="1463 1377 1887 1404">5.4.2 品質マネジメントシステムの計画</p> <ol data-bbox="1489 1409 2368 1749" style="list-style-type: none"> (1) 理事長は、「4.1 一般要求事項」に規定する要求事項を満たすために、品質マネジメントシステムの構築と維持について、本品質マネジメント計画書を策定する。 (2) 理事長は、プロセス、組織等の変更を含む品質マネジメントシステムの変更を計画し、実施する場合には、管理責任者を通じて、その変更が品質マネジメントシステムの全体の体系に対して矛盾なく、整合性が取れていることをレビューすることにより確実にする。この場合において、保安活動の重要度に応じて、次の事項を適切に考慮する。 <ol data-bbox="1516 1625 2368 1749" style="list-style-type: none"> (a) 変更の目的及びそれによって起こり得る結果（原子力の安全への影響の程度及び必要な処置を含む。） (b) 品質マネジメントシステムの有効性の維持 (c) 資源の利用可能性 <p data-bbox="1902 1803 1932 1831" style="text-align: center;">7</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 304 2383 436"> <tr> <td data-bbox="1486 304 1932 342">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 304 2383 342">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 342 2383 388">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 388 1783 426">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 388 2080 426">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 388 2383 426">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1486 472 1798 499">(d) 責任及び権限の割当て</p> <p data-bbox="1460 535 1887 562">5.5 責任、権限及びコミュニケーション</p> <p data-bbox="1460 567 1685 594">5.5.1 責任及び権限</p> <p data-bbox="1460 598 2356 718">理事長は、廃棄物管理施設保安規定に定める保安管理体制に基づき、保安に係る組織を図5.5.1大洗研究所廃棄物管理施設保安管理組織図に、各組織の責任と権限を次のとおり定め、各組織を通じて全体に周知し、保安活動に関係する要員が理解することを確実にする。</p> <p data-bbox="1460 722 2356 812">また、保安活動に係る業務のプロセスに関する手順となる文書（「4.2.1一般」参照）を定めさせ、保安に係る各組織の要員が自らの職務の範囲において、その保安活動の内容について説明する責任を持って業務を遂行するようにする。</p> <p data-bbox="1486 816 1620 844">(1) 理事長</p> <p data-bbox="1516 848 2104 875">理事長は、廃棄物管理施設の保安に係る業務を総理する。</p> <p data-bbox="1486 879 1685 907">(2) 統括監査の職</p> <p data-bbox="1516 911 2356 968">統括監査の職は、廃棄物管理施設の品質マネジメント活動に関する内部監査に係る業務を行う。</p> <p data-bbox="1486 972 1665 999">(3) 管理責任者</p> <p data-bbox="1486 1003 2356 1155">管理責任者は、監査プロセスにおいては統括監査の職、本部（監査プロセスを除く。）においては安全・核セキュリティ統括本部担当理事、研究所においては大洗研究所担当理事（以下「研究所担当理事」という。）とする。各管理責任者は、品質マネジメントシステムに必要なプロセスを管理し、維持すること等を確実にする責任と権限を有する（「5.5.2管理責任者」参照）。</p> <p data-bbox="1486 1159 1887 1186">(4) 安全・核セキュリティ統括本部長</p> <p data-bbox="1486 1190 2356 1281">安全・核セキュリティ統括本部長は、理事長を補佐し、安全管理部長が行う本部としての指導、支援活動及び機構内の総合調整を統理する。また、保安上必要な場合は、理事長への意見具申及び理事長指示に基づく必要な措置を講ずる。</p> <p data-bbox="1486 1285 1685 1312">(5) 安全管理部長</p> <p data-bbox="1486 1316 2356 1407">安全管理部長は、廃棄物管理施設における品質マネジメント活動に関して行う指導、支援及び機構内の総合調整の業務、本部の品質マネジメント活動に係る業務並びに中央安全審査・品質保証委員会の庶務に関する業務を行う。</p> <p data-bbox="1486 1411 1641 1438">(6) 契約部長</p> <p data-bbox="1516 1442 2312 1470">契約部長は、廃棄物管理施設の調達管理に関する本部契約に係る業務を行う。</p> <p data-bbox="1486 1474 1709 1501">(7) 研究所担当理事</p> <p data-bbox="1486 1505 2356 1562">研究所担当理事は、理事長を補佐し、廃棄物管理施設の保安に係る業務を統理する。</p> <p data-bbox="1486 1566 1596 1593">(8) 所長</p> <p data-bbox="1516 1598 2083 1625">所長は、廃棄物管理施設の保安に係る業務を統括する。</p> <p data-bbox="1486 1629 1709 1656">(9) 品質担当副所長</p> <p data-bbox="1486 1661 2356 1717">品質担当副所長は、廃棄物管理施設品質マネジメント計画に基づく活動を推進する。</p> <p data-bbox="1486 1722 1742 1749">(10) 廃棄物取扱主任者</p> <p data-bbox="1899 1801 1938 1829">8</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 302 2383 436"> <tr> <td data-bbox="1486 302 1932 342">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 302 2383 342">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 342 2383 388">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 388 1783 428">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 388 2080 428">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 388 2383 428">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1486 472 2383 499">廃棄物管理施設の操作に係る保安の監督を行う。</p> <p data-bbox="1486 506 2383 533">(11) センター長 所長が行う廃棄物管理施設に係る保安に関する業務の統括を補佐するとともに、廃棄物管理施設に係る環境保全部長の行う年間処理計画、修理及び改造計画に係る業務を統括する。</p> <p data-bbox="1486 539 2383 567">(12) 部長 所掌する部署における品質マネジメント活動を統括するとともに、推進する。</p> <p data-bbox="1486 573 2383 600">(13) 課長 所掌する室及び課における品質マネジメント活動を行う。</p> <p data-bbox="1486 606 2383 634">(14) 中央安全審査・品質保証委員会 次の活動に必要な管理を規定するために安全管理部長は、「中央安全審査・品質保証委員会の運営について」を定める。</p> <p data-bbox="1486 640 2383 667">(a) 中央安全審査・品質保証委員会は、理事長の諮問に応じ、品質保証活動の基本事項等について審議し、答申する。</p> <p data-bbox="1486 674 2383 701">(15) 原子炉施設等安全審査委員会 次の活動に必要な管理を規定するために所長は、「原子炉施設等安全審査委員会規則」を定める。</p> <p data-bbox="1486 707 2383 735">(a) 原子炉施設等安全審査委員会は、所長からの諮問に応じ、廃棄物管理施設の安全性の評価、設計内容等の妥当性を審議し、答申する。</p> <p data-bbox="1486 741 2383 768">(16) 品質保証推進委員会 次の活動に必要な管理を規定するために所長は、「品質保証推進委員会規則」を定める。</p> <p data-bbox="1486 774 2383 802">(a) 品質保証推進委員会は、研究所における品質マネジメント活動の推進、安全文化の育成及び維持並びに法令等の遵守活動並びに所長からの諮問事項について審議する。</p> <p data-bbox="1486 808 2383 835">(17) 品質保証技術検討会等 環境保全部、保安管理部及び放射線管理部に品質保証技術検討会及び管理部に品質保証推進委員会（以下、これらの会議体を「品質保証技術検討会等」という。）を置く。品質保証技術検討会等は、それぞれの運営要領又は規約に従い審議・検討等を行う。</p> <p data-bbox="1463 1440 2383 1499">5.5.2 管理責任者 管理責任者は、与えられている他の責任と関わりなく、それぞれの領域において次に示す責任及び権限をもつ。</p> <p data-bbox="1463 1505 2383 1564">(1) 品質マネジメントシステムに必要なプロセスの確立、実施及び維持を確実にする。</p> <p data-bbox="1463 1570 2383 1629">(2) 品質マネジメントシステムの実施状況及び改善の必要性の有無について、理事長に報告する。</p> <p data-bbox="1463 1635 2383 1694">(3) 組織全体にわたって、安全文化を育成し、維持することにより、原子力の安全を確保するための認識を高めることを確実にする。</p> <p data-bbox="1463 1701 2383 1728">(4) 関係法令を遵守する。</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 302 2383 436"> <tr> <td data-bbox="1486 302 1932 342">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 302 2383 342">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 342 2383 388">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 388 1783 428">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 388 2080 428">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 388 2383 428">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1457 506 1614 531">5.5.3 管理者</p> <p data-bbox="1486 537 2356 596">(1) 理事長は、「5.5.1 責任及び権限」に定める管理者に、所掌する業務に関して、次に示す責任及び権限を与えることを確実にする。</p> <p data-bbox="1486 602 2356 661">(a) 業務のプロセスが確立され、実施されるとともに、有効性を継続的に改善する。</p> <p data-bbox="1486 667 2356 726">(b) 業務に従事する要員の、業務・廃棄物管理施設に対する要求事項についての認識を高める。</p> <p data-bbox="1486 732 2356 791">(c) 成果を含む業務の実施状況について評価する（「5.4.1 品質目標」及び「8.2.3 プロセスの監視及び測定」参照）。</p> <p data-bbox="1486 798 2356 816">(d) 健全な安全文化を育成し、維持する取組を促進する。</p> <p data-bbox="1486 823 2356 842">(e) 関係法令を遵守する。</p> <p data-bbox="1486 848 2356 907">(2) 管理者は、前項の責任及び権限の範囲において、原子力の安全のためのリーダーシップを発揮し、次に掲げる事項を確実に実施する。</p> <p data-bbox="1486 913 2356 972">(a) 品質目標（「5.4.1 品質目標」参照）を設定し、その目標の達成状況を確認するため、業務の実施状況を監視測定する。</p> <p data-bbox="1486 978 2356 1037">(b) 要員が、原子力の安全に対する意識を向上し、かつ、原子力の安全への取組を積極的に行えるようにする。</p> <p data-bbox="1486 1043 2356 1102">(c) 原子力の安全に係る意思決定の理由及びその内容を、関係する要員に確実に伝達する。</p> <p data-bbox="1486 1108 2356 1167">(d) 要員に、常に問いかける姿勢及び学習する姿勢を定着させるとともに、要員が、積極的に廃棄物管理施設の保安に関する問題の報告を行えるようにする。</p> <p data-bbox="1486 1173 2356 1192">(e) 要員が、積極的に業務の改善に対する貢献を行えるようにする。</p> <p data-bbox="1486 1199 2356 1283">(3) 管理者は、品質マネジメントシステムの有効性を評価し、新たに取り組むべき改善の機会を捉えるため、年1回以上（年度末及び必要に応じて）、自己評価（安全文化について強化すべき分野等に係るものを含む。）を実施する。</p> <p data-bbox="1457 1318 1792 1344">5.5.4 内部コミュニケーション</p> <p data-bbox="1486 1350 2356 1535">(1) 理事長は、組織内のコミュニケーションが適切に行われることを確実にするため、機構に中央安全審査・品質保証委員会を置くとともに、安全・核セキュリティ統括本部長、安全管理部長、統括監査の職、契約部長、研究所担当理事、所長、センター長、部長及び課長に必要な会議、連絡書等を利用して保安に係る情報交換を行わせる。また、マネジメントレビューを通じて、廃棄物管理施設の品質マネジメントシステムの有効性に関する情報交換が行われることを確実にする。</p> <p data-bbox="1486 1541 2356 1661">(2) 安全管理部長は、「中央安全審査・品質保証委員会の運営について」を定め、所長及びセンター長は、所内のコミュニケーションについては、原子炉施設等安全審査委員会規則、運営会議要領及び品質保証推進委員会規則を定め、保安活動及び品質マネジメント活動の円滑な運営及び推進を図る。</p> <p data-bbox="1486 1667 2356 1726">(3) 部長は、部内の品質保証審査機関についての要領を定め、品質マネジメント活動の円滑な運営及び推進を図る。</p> <p data-bbox="1902 1812 1941 1837">10</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 296 2383 426"> <tr> <td data-bbox="1486 296 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 296 2383 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 331 2383 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 373 1783 426">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2080 426">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 373 2383 426">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1457 464 1751 489">5.6 マネジメントレビュー</p> <p data-bbox="1457 495 1593 520">5.6.1 一般</p> <p data-bbox="1486 527 2356 617">(1) 理事長は、品質マネジメントシステムが、引き続き適切で、妥当で、かつ有効であることを確実にするために、「マネジメントレビュー実施要領」に基づき、年1回以上(年度末及び必要に応じて)、マネジメントレビューを実施する。</p> <p data-bbox="1486 623 2356 680">(2) このレビューでは、品質マネジメントシステムの改善の機会の評価及び品質方針を含む品質マネジメントシステムの変更の必要性の評価も行う。</p> <p data-bbox="1457 716 1932 741">5.6.2 マネジメントレビューへのインプット</p> <p data-bbox="1486 747 2264 772">(1) マネジメントレビューへのインプットには次の情報を含むものとする。</p> <p data-bbox="1507 779 1730 804">(a) 内部監査の結果</p> <p data-bbox="1507 810 1843 835">(b) 組織の外部の者からの意見</p> <p data-bbox="1507 842 2356 898">(c) 保安活動に関するプロセスの成果を含む実施状況（品質目標の達成状況を含む。）</p> <p data-bbox="1507 905 2356 1024">(d) 使用前事業者検査及び定期事業者検査（以下「使用前事業者検査等」という。）並びに自主検査等（廃棄物管理施設の要求事項への適合性を判定するため、使用前事業者検査等のほかに自主的に行う、合否判定基準のある検証、妥当性確認、監視測定、試験及びこれらに付随するもの）の結果</p> <p data-bbox="1507 1031 2356 1087">(e) 安全文化を育成し、維持するための取組の実施状況（安全文化について強化すべき分野等に係る自己評価の結果を含む。）</p> <p data-bbox="1507 1094 1774 1119">(f) 関係法令の遵守状況</p> <p data-bbox="1507 1125 2356 1215">(g) 不適合並びに是正処置及び未然防止処置の状況（組織の内外で得られた知見（技術的な進歩により得られたものを含む。）及び不適合その他の事象から得られた教訓を含む。）</p> <p data-bbox="1507 1222 2347 1247">(h) 前回までのマネジメントレビューの結果に対する処置状況のフォローアップ</p> <p data-bbox="1507 1253 2184 1278">(i) 品質マネジメントシステムに影響を及ぼす可能性のある変更</p> <p data-bbox="1507 1285 1754 1310">(j) 改善のための提案</p> <p data-bbox="1507 1316 1709 1341">(k) 資源の妥当性</p> <p data-bbox="1486 1348 2356 1438">(1) 保安活動の改善のために実施した処置（品質方針に影響を与えるおそれのある組織の内外の課題を明確にし、当該課題に取り組むことを含む（8.5.2(3)a)において同じ。））の有効性</p> <p data-bbox="1486 1444 2356 1501">(2) 所長は、センター長及び各部長に指示して、所掌する業務に関して、前項に定める事項を提出させ、その内容を整理した上で研究所の管理責任者に報告する。</p> <p data-bbox="1486 1507 2101 1533">(3) 研究所の管理責任者は、前項の内容を確認・評価する。</p> <p data-bbox="1486 1539 2356 1596">(4) 監査プロセスの管理責任者は、監査プロセスにおけるインプット情報を確認・評価する。</p> <p data-bbox="1486 1602 2356 1659">(5) 本部（監査プロセスを除く。）の管理責任者は、本部におけるインプット情報を確認・評価する。</p> <p data-bbox="1486 1665 2356 1722">(6) 各管理責任者は、マネジメントレビューの会議を通して理事長にインプット情報を報告する。</p> <p data-bbox="1893 1808 1938 1833">11</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|--------------|--|------------------------|--|--|------------------|-----------------|----------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1481 296 2383 428"> <tr> <td data-bbox="1481 296 1932 338">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 296 2383 338">文書番号: QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1481 338 2383 380">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1481 380 1783 422">制定日: 2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 380 2086 422">改訂日: 2022年3月10日</td> <td data-bbox="2086 380 2383 422">改訂番号: 19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1454 468 1976 493">5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット</p> <p data-bbox="1481 497 2362 558">(1) 理事長は、マネジメントレビューのアウトプットには、次の事項に関する決定及び処置を含め、管理責任者に必要な改善を指示する。</p> <ul data-bbox="1507 560 2362 745" style="list-style-type: none"> (a) 品質マネジメントシステム及びそのプロセスの有効性の改善 (b) 業務の計画及び実施に関連する保安活動の改善 (c) 品質マネジメントシステムの実効性の維持及び継続的な改善のために必要な資源 (d) 健全な安全文化の育成及び維持に関する改善 (e) 関係法令の遵守に関する改善 <p data-bbox="1481 747 2362 808">(2) マネジメントレビューの結果の記録を作成し、これを管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1481 810 2323 837">(3) 管理責任者は、(1)項で改善の指示を受けた事項について必要な処置を行う。</p> <p data-bbox="1481 840 2362 903">(4) 理事長は、本部（監査プロセスを除く。）の管理責任者を通じて、上記(1)の指示に対する処置状況を確認する。</p> <p data-bbox="1454 938 1656 963">6. 資源の運用管理</p> <p data-bbox="1454 968 1635 995">6.1 資源の確保</p> <p data-bbox="1454 999 2362 1089">理事長、安全・核セキュリティ統括本部長、安全管理部長、契約部長、研究所担当理事、所長及び部長は、保安活動に必要な次に掲げる資源を明確にし、それぞれの権限及び責任において確保する。</p> <ul data-bbox="1481 1094 2312 1218" style="list-style-type: none"> (1) 人的資源（要員の力量） (2) インフラストラクチャ（個別業務に必要な施設、設備及びサービスの体系） (3) 作業環境 (4) その他必要な資源 <p data-bbox="1454 1253 1611 1278">6.2 人的資源</p> <p data-bbox="1454 1283 1584 1310">6.2.1 一般</p> <ul data-bbox="1481 1314 2362 1562" style="list-style-type: none"> (1) 理事長、安全・核セキュリティ統括本部長、安全管理部長、統括監査の職、契約部長、研究所担当理事、所長、部長及び課長は、原子力の安全を確実なものにするために必要とする要員を明確にし、保安に係る組織体制を確保する。 (2) 保安に係る各組織の要員には、業務に必要な教育・訓練、技能及び経験を判断の根拠として、力量のある者を充てる。 (3) 外部へ業務を委託することで要員を確保する場合には、業務の範囲、必要な力量を明確にすることを確実にする（「7.1 業務の計画」、「7.4.2 調達要求事項」及び「7.5.2 個別業務に関するプロセスの妥当性確認」参照）。 <p data-bbox="1454 1598 1816 1625">6.2.2 力量、教育・訓練及び認識</p> <ul data-bbox="1481 1629 2362 1753" style="list-style-type: none"> (1) 所長及び部長は、要員の力量を確保するために、教育・訓練に関する管理要領を定め、保安活動の重要度に応じて、次の事項を確実に実施する。 <ul data-bbox="1507 1692 2243 1753" style="list-style-type: none"> (a) 保安に係る業務に従事する要員に必要な力量を明確にする。 (b) 必要な力量を確保するための教育・訓練又はその他の処置を行う。 | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 294 2383 426"> <tr> <td data-bbox="1486 294 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 294 2383 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 331 2383 380">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 380 1783 426">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 380 2080 426">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 380 2383 426">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1486 464 2356 743"> (c) 教育・訓練又はその他の処置の有効性を評価する。 (d) 要員が、品質目標の達成に向けて自らが行う業務のもつ意味と重要性の認識及び原子力の安全に自らどのように貢献しているかを認識することを確実にする。 (e) 要員の力量及び教育・訓練又はその他の処置についての記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。 (2) 理事長は、監査員の力量について、「原子力安全監査実施要領」に定める。 (3) 安全管理部長は、本部における原子力の安全に影響を及ぼす業務のプロセスを明確にし、(1)項の(a)から(e)に準じた管理を行う。 </p> <p data-bbox="1460 779 2356 869"> 6.3 インフラストラクチャ 所長、部長及び課長は、インフラストラクチャ（個別業務に必要な施設、設備及びサービスの体系をいう。）を「7.1 業務の計画」にて明確にし、これを維持管理する。 </p> <p data-bbox="1460 905 2356 1058"> 6.4 作業環境 所長、部長及び課長は、保安のために業務に必要な作業環境を「7.1 業務の計画」にて明確にし、運営管理する。 なお、この作業環境には、作業場所の放射線量、温度、照度及び狭隘の程度など作業に影響を及ぼす可能性がある事項を含む。 </p> <p data-bbox="1460 1094 2356 1751"> 7. 業務の計画及び実施 7.1 業務の計画 (1) 所長、センター長及び部長は、廃棄物管理施設の運転管理、施設管理、核燃料物質の管理等（保安規定に基づく保安活動）について業務に必要なプロセスの計画又は要領（二次文書）を表4.2.1のとおり策定する。 (2) 部長及び課長は、業務に必要なプロセスの計画又は要領（二次文書）に基づき、個別業務に必要な計画（三次文書：マニュアル、手引、手順等）を作成して、業務を実施する。 (3) 上記(1)、(2)の業務の計画は、品質マネジメントシステムのその他のプロセスの要求事項と整合性（業務の計画を変更する場合を含む。）を確保する。 (4) 所長、センター長、部長及び課長は、業務の計画の策定及び変更（プロセス及び組織の変更（累積的な影響が生じ得るプロセス及び組織の軽微な変更を含む。）を含む。）に当たっては、次の事項のうち該当するものについて個別業務への適用の程度とその内容を明確にする。 (a) 業務の計画の策定又は変更の目的及びそれによって起こり得る結果（原子力の安全への影響の程度及び必要な処置を含む。） (b) 業務・廃棄物管理施設に対する品質目標及び要求事項 (c) 業務・廃棄物管理施設に特有なプロセス及び文書の確立の必要性、並びに資源の提供の必要性 (d) 業務・廃棄物管理施設のための使用前事業者検査等、検証、妥当性確認、監視及び測定並びにこれらの合否判定基準 </p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1486 289 2386 422"> <tr> <td data-bbox="1486 289 1932 327">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 327">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1486 327 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 373 1783 411">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2080 411">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 373 2386 411">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1486 464 2362 646"> (e) 業務・廃棄物管理施設のプロセス及びその結果が要求事項を満たしていることを実証するために必要な記録（「4.2.4 記録の管理」参照） (5) 業務の計画は、個別業務の運営方法に適した形式で分かりやすいものとする。 (6) 安全管理部長、契約部長は、本部において廃棄物管理施設の保安活動を支援するその他業務がある場合、該当する業務のプロセスを明確にし、上記(1)から(5)項までに準じて業務の計画を策定し、管理する。 </p> <p data-bbox="1457 684 2119 709">7.2 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項に関するプロセス</p> <p data-bbox="1457 716 2050 741">7.2.1 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項の明確化</p> <p data-bbox="1457 747 2273 772">所長、部長及び課長は、次の事項を「7.1 業務の計画」において明確にする。</p> <p data-bbox="1457 779 2214 867"> (1) 業務・廃棄物管理施設に関連する法令・規制要求事項 (2) 明示されていないが、業務・廃棄物管理施設に必要な要求事項 (3) 組織が必要と判断する追加要求事項（安全基準等） </p> <p data-bbox="1457 905 2071 930">7.2.2 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項のレビュー</p> <p data-bbox="1457 936 2362 1314"> (1) 所長、部長及び課長は、業務・廃棄物管理施設に対する要求事項をレビューする。このレビューは、その要求事項を適用する前に実施する。 (2) レビューでは、次の事項について確認する。 (a) 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項が定められている。 (b) 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項が以前に提示されたものと異なる場合には、それについて解決されている。 (c) 当該組織が、定められた要求事項を満たす能力をもっている。 (3) このレビューの結果の記録及びそのレビューを受けてとられた処置の記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。 (4) 所長、部長及び課長は、業務・廃棄物管理施設に対する要求事項が変更された場合には、関連する文書を改訂する。また、変更後の要求事項が関連する要員に理解されていることを確実にする。 </p> <p data-bbox="1457 1352 1843 1377">7.2.3 外部とのコミュニケーション</p> <p data-bbox="1457 1383 2362 1472">所長、センター長、部長及び課長は、原子力の安全に関して、規制当局との面談、原子力規制検査等を通じて監督官庁並びに地元自治体との適切なコミュニケーションを図るため、効果的な方法を明確にし、これを実施する。これには、次の事項を含む。</p> <p data-bbox="1457 1478 2362 1629"> (1) 組織の外部の者と効果的に連絡し、適切に情報を通知する方法 (2) 予期せぬ事態における組織の外部の者との時宜を得た効果的な連絡方法 (3) 原子力の安全に関連する必要な情報を組織の外部の者に確実に提供する方法 (4) 原子力の安全に関連する組織の外部の者の懸念や期待を把握し、意思決定において適切に考慮する方法 </p> <p data-bbox="1457 1667 1635 1692">7.3 設計・開発</p> <p data-bbox="1457 1698 2362 1757">所長又は部長は、廃棄物管理施設の改造、更新等に関する設計・開発を適切に実施するため、設計・開発に関する管理要領を定め、次の事項を管理する。</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|--------------|--|------------------------|--|--|------------------|-----------------|----------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 279 2383 413"> <tr> <td data-bbox="1478 279 1932 317">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 279 2383 317">文書番号: QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 317 2383 365">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 365 1783 413">制定日: 2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 365 2089 413">改訂日: 2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 365 2383 413">改訂番号: 19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1451 485 1724 510">7.3.1 設計・開発の計画</p> <p data-bbox="1478 516 2356 667">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、廃棄物管理施設の設計・開発の計画（不適合及び予期せぬ事象の発生等を未然に防止するための活動（4.1(2)(c)の事項を考慮して行うものを含む。）を行うことを含む。）を策定し、管理する。この設計・開発には、設備、施設、ソフトウェア及び原子力の安全のために重要な手順書等に関する設計・開発を含む。</p> <p data-bbox="1478 674 2309 699">(2) 担当部長又は課長は、設計・開発の計画において、次の事項を明確にする。</p> <p data-bbox="1504 705 2000 730">(a) 設計・開発の性質、期間及び複雑さの程度</p> <p data-bbox="1504 737 2356 793">(b) 設計・開発の各段階に適したレビュー、検証及び妥当性確認の方法並びに管理体制</p> <p data-bbox="1504 800 2068 825">(c) 設計・開発に関する部署及び要員の責任及び権限</p> <p data-bbox="1504 831 1976 856">(d) 設計・開発に必要な内部及び外部の資源</p> <p data-bbox="1478 863 2356 953">(3) 担当部長又は課長は、効果的なコミュニケーションと責任及び権限の明確な割当てを確実にするために、設計・開発に関与する関係者（他部署を含む。）間のインタフェースを運営管理する。</p> <p data-bbox="1478 959 2356 1016">(4) 担当部長又は課長は、設計・開発の進行に応じて、策定した計画を適切に変更する。</p> <p data-bbox="1451 1056 1813 1081">7.3.2 設計・開発へのインプット</p> <p data-bbox="1478 1087 2356 1144">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、廃棄物管理施設の要求事項に関連するインプットを明確にし、記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1534 1150 1899 1176">インプットには次の事項を含める。</p> <p data-bbox="1504 1182 1899 1207">(a) 機能及び性能に関する要求事項</p> <p data-bbox="1504 1213 2175 1239">(b) 適用可能な場合は、以前の類似した設計から得られた情報</p> <p data-bbox="1504 1245 1899 1270">(c) 適用される法令・規制要求事項</p> <p data-bbox="1504 1276 1991 1302">(d) 設計・開発に不可欠なその他の要求事項</p> <p data-bbox="1478 1308 2356 1398">(2) 担当部長又は課長は、これらのインプットについて、その適切性をレビューし承認する。要求事項は、漏れがなく、あいまいではなく、かつ、相反することがないようにする。</p> <p data-bbox="1451 1438 1860 1463">7.3.3 設計・開発からのアウトプット</p> <p data-bbox="1478 1470 2356 1560">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、設計・開発からのアウトプット（機器等の仕様等）は、設計・開発へのインプットと対比した検証を行うのに適した形式により管理する。また、次の段階に進める前に、承認をする。</p> <p data-bbox="1478 1566 2356 1623">(2) 担当部長又は課長は、設計・開発のアウトプット（機器等の仕様等）は、次の状態とする。</p> <p data-bbox="1504 1629 2184 1654">(a) 設計・開発へのインプットで与えられた要求事項を満たす。</p> <p data-bbox="1504 1661 2356 1686">(b) 調達、業務の実施及び廃棄物管理施設の使用に対して適切な情報を提供する。</p> <p data-bbox="1504 1692 2356 1717">(c) 関係する検査及び試験の合否判定基準を含むか、又はそれを参照している。</p> <p data-bbox="1504 1724 2356 1749">(d) 安全な使用及び適正な使用に不可欠な廃棄物管理施設の特性を明確にする。</p> <p data-bbox="1893 1808 1938 1833">15</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1484 289 2386 422"> <tr> <td data-bbox="1484 289 1932 327">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 327">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1484 327 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1484 373 1783 411">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2083 411">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2083 373 2386 411">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1457 491 1771 516">7.3.4 設計・開発のレビュー</p> <p data-bbox="1484 522 2362 611">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、設計・開発の適切な段階において、次の事項を目的として、計画されたとおり（「7.3.1 設計・開発の計画」参照）に体系的なレビューを行う。</p> <p data-bbox="1507 617 2220 642">(a) 設計・開発の結果が、要求事項を満たせるかどうかを評価する。</p> <p data-bbox="1507 648 1991 674">(b) 問題を明確にし、必要な処置を提案する。</p> <p data-bbox="1484 680 2362 739">(2) レビューへの参加者には、レビューの対象となっている設計・開発段階に関連する部署を代表する者及び当該設計・開発に係る専門家を含める。</p> <p data-bbox="1484 745 2362 804">(3) 担当部長又は課長は、設計・開発のレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1457 837 1724 863">7.3.5 設計・開発の検証</p> <p data-bbox="1484 869 2362 987">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、設計・開発からのアウトプットが、設計・開発へのインプットとして与えられている要求事項を満たしていることを確実にするために、計画されたとおり（「7.3.1 設計・開発の計画」参照）に検証を実施する。</p> <p data-bbox="1484 993 2220 1018">(2) 設計・開発の検証は、原設計者以外の者又はグループが実施する。</p> <p data-bbox="1484 1024 2362 1083">(3) 担当部長又は課長は、設計・開発の検証の結果の記録及び必要な処置があればその記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1484 1089 2362 1207">(4) 設計・開発を外部委託した場合には、担当部長又は課長は、引合仕様書で与えている要求事項を満たしていることを確実にするために、引合仕様書と受注者が実施した設計・開発の結果（受注者から提出される承認図書類）とを対比して検証を実施する。</p> <p data-bbox="1457 1241 1792 1266">7.3.6 設計・開発の妥当性確認</p> <p data-bbox="1484 1272 2362 1457">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、設計・開発の結果として得られる廃棄物管理施設又は個別業務が、規定された性能、指定された用途又は意図された用途に係る要求事項を満たし得ることを確実にするために、計画した方法（「7.3.1 設計・開発の計画」参照）に従って、設計・開発の妥当性確認を実施する。ただし、当該廃棄物管理施設の設置の後でなければ妥当性確認を行うことができない場合は、当該廃棄物管理施設の使用を開始する前に、設計・開発の妥当性確認を行う。</p> <p data-bbox="1484 1463 2362 1522">(2) 担当部長又は課長は、実行可能な場合はいつでも、廃棄物管理施設を使用又は個別業務を実施するに当たり、あらかじめ、設計・開発の妥当性確認を完了する。</p> <p data-bbox="1484 1528 2362 1587">(3) 担当部長又は課長は、設計・開発の妥当性確認の結果の記録及び必要な処置があればその記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1457 1621 1771 1646">7.3.7 設計・開発の変更管理</p> <p data-bbox="1484 1652 2362 1711">(1) 工事等を担当する部長又は課長は、設計・開発の変更を行った場合は変更内容を識別するとともに、その記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1484 1717 2362 1743">(2) 担当部長又は課長は、変更に対して、レビュー、検証及び妥当性確認を適切に</p> <p data-bbox="1902 1801 1941 1827">16</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 283 2383 415"> <tr> <td data-bbox="1478 283 1932 321">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 283 2383 321">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 321 2383 359">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 359 1783 415">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 359 2089 415">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 359 2383 415">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 457 1941 483">行い、その変更を実施する前に承認する。</p> <p data-bbox="1478 487 2356 575">(3) 担当部長又は課長は、設計・開発の変更のレビューにおいて、その変更が、当該廃棄物管理施設を構成する要素（材料又は部品）及び廃棄物管理施設に及ぼす影響の評価を行う。</p> <p data-bbox="1478 579 2356 642">(4) 担当部長又は課長は、変更のレビュー、検証及び妥当性確認の結果の記録及び必要な処置があればその記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1448 676 1561 701">7.4 調達</p> <p data-bbox="1448 705 2356 798">所長又は部長は、調達する製品又は役務（以下「調達製品等」という。）の調達を適切に実施するため、調達に関する管理要領「大洗研究所調達管理要領」を定め、次の事項を管理する。</p> <p data-bbox="1448 802 2356 865">また、契約部長は、供給先の評価・選定に関する要領を定め、本部契約に関する業務を実施する。</p> <p data-bbox="1448 898 1673 924">7.4.1 調達プロセス</p> <p data-bbox="1478 928 2356 991">(1) 部長及び課長は、調達製品等が規定された調達要求事項に適合することを確実にする。</p> <p data-bbox="1478 995 2356 1176">(2) 部長及び課長は、保安活動の重要度に応じて、供給者及び調達製品等に対する管理の方式と程度（力量を有する者を組織の外部から確保する際に、外部への業務委託の範囲を品質マネジメント文書に明確に定めることを含む。）を定める。これには、一般産業用工業品を調達する場合は、供給者等から必要な情報を入手し、当該一般産業用工業品が要求事項に適合していることを確認できるよう管理の方法及び程度を含める。</p> <p data-bbox="1478 1180 2356 1302">(3) 部長及び課長は、供給者が要求事項に従って調達製品等を供給する能力を判断の根拠として、技術的能力や品質管理体制等に関する情報を入手して供給者を評価し、選定する。また、供給者に関する情報の更新等により必要な場合には再評価する。</p> <p data-bbox="1478 1306 2356 1398">(4) 調達製品等の供給者の選定、評価及び再評価の基準は、研究所の調達に関する管理要領「大洗研究所調達管理要領」及び本部の供給先の評価・選定に関する要領に定める。</p> <p data-bbox="1478 1402 2356 1465">(5) 部長及び課長は、供給者の評価の結果の記録及び評価によって必要とされた処置があればその記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1478 1470 2356 1591">(6) 所長又は部長は、調達製品等の調達後における、維持又は運用に必要な保安に係る技術情報を調達先から取得するための方法及びそれらを他の廃棄物管理事業者と共有する場合に必要な処置に関する方法を調達に関する管理要領「大洗研究所調達管理要領」に定める。</p> <p data-bbox="1448 1625 1673 1650">7.4.2 調達要求事項</p> <p data-bbox="1478 1654 2356 1717">(1) 部長及び課長は、調達製品等に関する要求事項を引合仕様書にて明確にし、必要な場合には、次の事項のうち該当する事項を含める。</p> <p data-bbox="1507 1722 2208 1747">(a) 製品、業務の手順、プロセス及び設備の承認に関する要求事項</p> <p data-bbox="1893 1801 1941 1827">17</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1484 296 2386 428"> <tr> <td data-bbox="1484 296 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 296 2386 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1484 331 2386 380">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1484 380 1783 428">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 380 2083 428">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2083 380 2386 428">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1484 468 2359 873"> (b) 要員の力量（適格性を含む。）確認に関する要求事項 (c) 品質マネジメントシステムに関する要求事項 (d) 不適合の報告及び処理に関する要求事項 (e) 安全文化を育成し維持するための活動に関する必要な要求事項 (f) 一般産業用工業品を機器等に使用するに当たっての評価に必要な要求事項 (g) その他調達物品等に関し必要な要求事項 (2) 部長及び課長は、前項に加え、調達製品等の要求事項として、供給者の工場等において使用前事業者検査又はその他の活動を行う際、原子力規制委員会の職員による当該工場等への立入りに関することを含める。 (3) 部長及び課長は、供給者に調達製品等に関する情報を伝達する前に、規定した調達要求事項が妥当であることを確実にする。 (4) 部長及び課長は、調達製品等を受領する場合には、調達製品等の供給者に対し、調達要求事項への適合状況を記録した文書を提出させる。 </p> <p data-bbox="1457 909 1724 934">7.4.3 調達製品等の検証</p> <p data-bbox="1484 940 2359 1220"> (1) 部長及び課長は、調達製品等が、規定した調達要求事項を満たしていることを確実にするために、必要な検査又はその他の活動を引合仕様書に定めて、次の事項のうち該当する方法で検証を実施する。 (a) 受入検査（記録確認を含む。） (b) 立会検査（供給者先、現地） (c) その他（書類審査、受注者監査） (2) 部長及び課長は、供給者先で検証を実施することにした場合には、その検証の要領及び調達製品等のリリース（出荷許可）の方法を調達要求事項（「7.4.2 調達要求事項」参照）の中で明確にする。 </p> <p data-bbox="1457 1255 1635 1281">7.5 業務の実施</p> <p data-bbox="1457 1287 2359 1346"> 所長、部長及び課長は、業務の計画（「7.1 業務の計画」参照）に従って、次の事項を実施する。 </p> <p data-bbox="1457 1381 1703 1407">7.5.1 個別業務の管理</p> <p data-bbox="1457 1413 2359 1501"> 所長、センター長、部長及び課長は、廃棄物管理施設の運転管理、施設管理、核燃料物質の管理等の保安活動について、個別業務の計画に従って業務を管理された状態で実施する。 </p> <p data-bbox="1457 1507 2089 1533"> 管理された状態には、次の事項のうち該当するものを含む。 </p> <p data-bbox="1484 1539 2306 1755"> (1) 原子力施設の保安のために、次の事項を含む必要な情報が利用できる。 ・保安のために使用する機器等又は実施する個別業務の特性 ・当該機器等の使用又は個別業務の実施により達成すべき結果 (2) 必要な時に、作業手順が利用できる。 (3) 適切な設備を使用している。 (4) 監視機器及び測定機器が利用でき、使用している。 (5) 監視及び測定が実施されている（「8.2.3 プロセスの監視及び測定」参照）。 </p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 294 2383 426"> <tr> <td data-bbox="1478 294 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 294 2383 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 331 2383 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 373 1783 415">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2080 415">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 373 2383 415">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1478 464 2264 491">(6) 業務のリリース（次工程への引渡し）が規定どおりに実施されている。</p> <p data-bbox="1451 527 1952 554">7.5.2 個別業務に関するプロセスの妥当性確認</p> <p data-bbox="1478 558 2356 678">(1) 部長及び課長は、業務実施の過程で結果として生じるアウトプットが、それ以降の監視又は測定で検証することが不可能な場合には、その業務の該当するプロセスの妥当性確認を行う。これらのプロセスには、業務が実施されてからでしか不具合が顕在化しないようなプロセスが含まれる。</p> <p data-bbox="1478 682 2356 743">(2) 部長及び課長は、妥当性確認によって、これらのプロセスが計画どおりの結果を出せることを実証する。</p> <p data-bbox="1478 747 2356 808">(3) 部長及び課長は、妥当性確認を行った場合は、その結果の記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1478 812 2356 873">(4) 部長及び課長は、これらのプロセスについて、次の事項のうち該当するものを含んだ管理の方法を個別業務の計画の中で明確にする。</p> <p data-bbox="1504 877 2318 997">(a) プロセスのレビュー及び承認のための明確な基準 (b) 妥当性確認に用いる設備の承認及び要員の力量の確認の方法 (c) 妥当性確認の方法（所定の方法及び手順を変更した場合の再確認を含む。） (d) 記録に関する要求事項</p> <p data-bbox="1451 1033 1857 1060">7.5.3 識別管理及びトレーサビリティ</p> <p data-bbox="1478 1064 2356 1125">(1) 部長及び課長は、業務の計画及び実施の全過程において、監視及び測定の要求事項に関連して適切な手段で業務・廃棄物管理施設を識別し、管理する。</p> <p data-bbox="1478 1129 2356 1220">(2) 部長及び課長は、トレーサビリティが要求事項となっている場合には、業務・廃棄物管理施設について固有の識別をし、その記録を管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1451 1255 1700 1283">7.5.4 組織外の所有物</p> <p data-bbox="1478 1287 2356 1407">(1) 部長及び課長は、管理下にある組織外の所有物のうち原子力の安全に影響を及ぼす可能性のあるものについて、当該機器等に対する紛失、損傷等を防ぐためリスト化し、識別や保護など取扱いに注意を払い、紛失、損傷した場合は記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1478 1411 2356 1472">(2) 部長及び課長は、前項の組織外の所有物について、それが管理下にある間は、原子力の安全に影響を及ぼさないように適切に取り扱う。</p> <p data-bbox="1451 1507 1700 1535">7.5.5 調達製品の保存</p> <p data-bbox="1451 1539 2356 1629">部長及び課長は、調達製品の検収後、受入れから据付け、使用されるまでの間、調達製品を要求事項への適合を維持した状態のまま保存する。この保存には、識別表示、取扱い、包装、保管及び保護を含める。</p> <p data-bbox="1478 1633 1952 1661">なお、保存は、取替品、予備品にも適用する。</p> <p data-bbox="1451 1696 1813 1724">7.6 監視機器及び測定機器の管理</p> <p data-bbox="1478 1728 2356 1755">(1) 部長及び課長は、業務・廃棄物管理施設に対する要求事項への適合性を実証す</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 289 2386 424"> <tr> <td data-bbox="1478 289 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 331 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 373 1783 415">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2089 415">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 373 2386 415">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 464 2356 520">るために、実施すべき監視及び測定を個別業務の計画の中で明確にする。また、そのために必要な監視機器及び測定機器を明確にする。</p> <p data-bbox="1478 527 2356 583">(2) 部長及び課長は、監視及び測定の要求事項との整合性を確保できる方法で監視及び測定が実施できることを確実にする。</p> <p data-bbox="1478 590 2356 646">(3) 部長及び課長は、測定値の正当性を保証しなければならない場合には、測定機器に関し、次の事項を満たすようにする。</p> <p data-bbox="1507 653 2356 743">(a) 定められた間隔又は使用前に、国際又は国家計量標準にトレース可能な計量標準に照らして校正又は検証する。そのような標準が存在しない場合には、校正又は検証に用いた基準を記録し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1507 749 2080 774">(b) 機器の調整をする、又は必要に応じて再調整する。</p> <p data-bbox="1507 781 1967 806">(c) 校正の状態が明確にできる識別をする。</p> <p data-bbox="1507 812 2199 837">(d) 測定した結果が無効になるような操作ができないようにする。</p> <p data-bbox="1507 844 2288 869">(e) 取扱い、保守及び保管において、損傷及び劣化しないように保護する。</p> <p data-bbox="1478 875 2356 995">(4) 部長及び課長は、測定機器が要求事項に適合していないことが判明した場合には、その測定機器でそれまでに測定した結果の妥当性を評価し、記録する（「4.2.4 記録の管理」参照）。また、その機器及び影響を受けた業務・廃棄物管理施設に対して、適切な処置を行う。</p> <p data-bbox="1478 1001 2356 1058">(5) 部長及び課長は、監視機器及び測定機器の校正及び検証の結果の記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1478 1064 2356 1184">(6) 部長及び課長は、規定要求事項にかかわる監視及び測定にコンピュータソフトウェアを使う場合には、そのコンピュータソフトウェアを組み込んだシステムが意図した監視及び測定ができることを確認する。この確認は、最初に使用するのに先立って実施する。</p> <p data-bbox="1448 1224 1629 1249">8. 評価及び改善</p> <p data-bbox="1448 1255 1561 1281">8.1 一般</p> <p data-bbox="1478 1287 2356 1377">(1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、次の事項のために必要となる監視測定、分析、評価及び改善のプロセスを「8.2 監視及び測定」から「8.5 改善」に従って計画し、実施する。</p> <p data-bbox="1531 1383 2356 1440">なお、改善のプロセスには、関係する管理者等を含めて改善の必要性、方針、方法等について検討するプロセスを含む。</p> <p data-bbox="1531 1446 2036 1472">(a) 業務に対する要求事項への適合を実証する。</p> <p data-bbox="1531 1478 2110 1503">(b) 品質マネジメントシステムの適合性を確実にする。</p> <p data-bbox="1531 1509 2178 1535">(c) 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。</p> <p data-bbox="1478 1541 2199 1566">(2) 監視測定の結果は、必要な際に、要員が利用できるようにする。</p> <p data-bbox="1448 1606 1653 1631">8.2 監視及び測定</p> <p data-bbox="1448 1638 1751 1663">8.2.1 組織の外部の者の意見</p> <p data-bbox="1478 1669 2356 1759">(1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、品質マネジメントシステムの成果を含む実施状況の測定の一つとして、原子力の安全を確保しているかどうかに関して組織の外部の者がどのように受けとめてい</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1472 302 2386 436"> <tr> <td data-bbox="1472 302 1926 342">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1926 302 2386 342">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1472 342 2386 388">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1472 388 1774 428">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1774 388 2080 428">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2080 388 2386 428">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 474 2362 537">るかについての情報を外部コミュニケーション（「7.2.3 外部とのコミュニケーション」参照）により入手し、監視する。</p> <p data-bbox="1472 537 2362 600">(2) この情報は、分析し、マネジメントレビュー等による改善のための情報に反映する。</p> <p data-bbox="1448 636 1626 663">8.2.2 内部監査</p> <p data-bbox="1472 663 2362 758">(1) 理事長は、品質マネジメントシステムの次の事項が満たされているか否かを確認するため、毎年度1回以上、内部監査の対象業務に関与しない要員により、統括監査の職に内部監査を実施させる。</p> <p data-bbox="1495 758 1952 821">(a) 本品質マネジメント計画書の要求事項 (b) 実効性のある実施及び実効性の維持</p> <p data-bbox="1472 821 2312 856">(2) 理事長は、内部監査の判定基準、監査対象、頻度、方法及び責任を定める。</p> <p data-bbox="1472 856 2362 1014">(3) 理事長は、内部監査の対象となり得る部門、個別業務、プロセス、その他の領域（以下「領域」という。）の状態及び重要性並びに従前の監査の結果を考慮して内部監査の対象を選定するとともに、内部監査に関する基本計画を策定し、実施させることにより、内部監査の実効性を維持する。また、統括監査の職は、前述の基本計画を受けて実施計画を策定し内部監査を行う。</p> <p data-bbox="1472 1014 2362 1077">(4) 統括監査の職は、内部監査を行う要員（以下「内部監査員」という。）の選定及び内部監査の実施において、客観性及び公平性を確保する。</p> <p data-bbox="1472 1077 2362 1140">(5) 統括監査の職は、内部監査員に自らの個別業務又は管理下にある個別業務に関する内部監査をさせない。</p> <p data-bbox="1472 1140 2362 1241">(6) 理事長は、監査に関する計画の作成及び実施並びに監査結果の報告並びに記録の作成及び管理について、その責任及び権限並びに監査に係る要求事項を「原子力安全監査実施要領」に定める。</p> <p data-bbox="1472 1241 2362 1304">(7) 統括監査の職は、理事長に監査結果を報告し、内部監査の対象として選定された領域に責任を有する管理者に内部監査結果を通知する。</p> <p data-bbox="1472 1304 2362 1430">(8) 内部監査の対象として選定された領域に責任を有する管理者は、前項において不適合が発見された場合には、不適合を除去するための措置及び是正処置を遅滞なく講じるとともに、当該措置の検証を行い、それらの結果を統括監査の職に報告する。</p> <p data-bbox="1448 1465 1789 1493">8.2.3 プロセスの監視及び測定</p> <p data-bbox="1472 1493 2362 1587">(1) 理事長、安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長は、表8.2.3品質マネジメントシステムのプロセスの監視及び測定を基本として、品質マネジメントシステムのプロセスの監視及び測定を行う。</p> <p data-bbox="1507 1587 2362 1650">この監視及び測定の対象には機器等及び保安活動に係る不適合についての強化すべき分野等に関する情報を含める。</p> <p data-bbox="1531 1650 2080 1686">また、監視及び測定の方法には、次の事項を含める。</p> <p data-bbox="1495 1686 2000 1749">(a) 監視及び測定の時期 (b) 監視及び測定の結果の分析及び評価の方法</p> <p data-bbox="1472 1749 2332 1780">(2) これらの実施に当たり、保安活動の重要度に応じて、保安活動指標を用いる。</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|--------------|--|------------------------|--|--|------------------|-----------------|----------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 289 2386 422"> <tr> <td data-bbox="1478 289 1932 327">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 327">文書番号: QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 327 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 373 1783 411">制定日: 2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2089 411">改訂日: 2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 373 2386 411">改訂番号: 19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1478 457 2362 520">(3) これらの方法は、プロセスが計画どおりの結果を達成する能力があることを実証するものとする。</p> <p data-bbox="1478 520 2362 583">(4) 所長、部長及び課長は、プロセスの監視及び測定の状態について情報を共有し、その結果に応じて、保安活動の改善のために必要な処置を行う。</p> <p data-bbox="1478 583 2362 646">(5) 計画どおりの結果が達成できない又は達成できないおそれがある場合には、当該プロセスの問題を特定し、適切に、修正及び是正処置を行う。</p> <p data-bbox="1478 680 1673 709">8.2.4 検査及び試験</p> <p data-bbox="1478 709 1745 739">(1) 使用前事業者検査等</p> <p data-bbox="1478 747 2386 810">所長は、「大洗研究所原子炉施設、核燃料物質使用施設、廃棄物管理施設独立検査組織運営規則」を定め、検査及び試験を行う原子力施設検査室長に次の事項を管理させる。</p> <p data-bbox="1507 819 2386 924">(a) 原子力施設検査室長は、廃棄物管理施設の要求事項が満たされていることを検証するために、個別業務の計画（「7.1 業務の計画」参照）に従って、適切な段階で使用前事業者検査等を実施する。</p> <p data-bbox="1507 932 2386 995">(b) 検査及び試験の合否判定基準への適合の証拠となる使用前事業者検査等の結果に係る記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1507 1003 2338 1033">(c) 記録には、リリース（次工程への引渡し）を正式に許可した人を明記する。</p> <p data-bbox="1507 1041 2386 1176">(d) 個別業務の計画（「7.1 業務の計画」参照）で決めた検査及び試験が支障なく完了するまでは、当該機器等や廃棄物管理施設を運転、使用しない。ただし、当該の権限をもつ者が、個別業務の計画に定める手順により承認する場合は、この限りでない。</p> <p data-bbox="1507 1184 2386 1247">(e) 原子力施設検査室長は、保安活動の重要度に応じて、使用前事業者検査等の中立性及び信頼性が損なわれないよう検査する要員の独立性を確保する。</p> <p data-bbox="1478 1255 1656 1285">(2) 自主検査等</p> <p data-bbox="1507 1293 2326 1323">自主検査等を行う部長は、検査・試験の管理要領を定め、次の事項を管理する。</p> <p data-bbox="1507 1331 2386 1415">(a) 部長（原子力施設検査室長を除く。）及び課長は、廃棄物管理施設の要求事項が満たされていることを検証するために、個別業務の計画（「7.1 業務の計画」参照）に従って、適切な段階で自主検査等を実施する。</p> <p data-bbox="1507 1423 2249 1453">(b) 自主検査等を行う部長及び課長は、8.2.4(1)(b)～(e)を準用する。</p> <p data-bbox="1507 1461 2386 1545">(c) 自主検査等を行う部長及び課長は、検査する要員の独立性を確保するために必要な場合は原子力施設検査室長と事前に協議の上検査を依頼することができる。</p> <p data-bbox="1478 1575 1632 1604">8.3 不適合管理</p> <p data-bbox="1478 1612 2386 1730">安全管理部長、所長、センター長又は部長は、不適合の処理に関する管理（不適合を関連する管理者に報告することを含む。）の手順及びそれに関する責任と権限を、本部は「不適合管理並びに是正及び未然防止処置要領」に、研究所は「大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領」に定め、次の事項を管理する。</p> <p data-bbox="1478 1738 2350 1768">(1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号: QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日: 2006年11月30日 | 改訂日: 2022年3月10日 | 改訂番号: 19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 289 2386 422"> <tr> <td data-bbox="1478 289 1932 327">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 327">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 327 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 373 1783 411">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2089 411">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 373 2386 411">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 457 2356 516">業務・廃棄物管理施設に対する要求事項に適合しない状況が放置され、運用されることを防ぐために、それらを識別し、管理することを確実にする。</p> <p data-bbox="1478 520 2356 579">(2) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長は、次のいずれかの方法で不適合を処理する。</p> <p data-bbox="1507 583 1941 613">(a) 不適合を除去するための処置を行う。</p> <p data-bbox="1507 617 2356 739">(b) 不適合について、あらかじめ定められた手順により原子力の安全に及ぼす影響を評価し、当該業務や機器等の使用に関する権限をもつ者が、特別採用によって、その使用、リリース(次工程への引渡し)又は合格と判定することを正式に許可する。</p> <p data-bbox="1507 743 2196 772">(c) 本来の意図された使用又は適用ができないような処置をとる。</p> <p data-bbox="1507 777 2356 835">(d) 外部への引渡し後又は業務の実施後に不適合が検出された場合には、その不適合による影響又は起こり得る影響に対して適切な処置をとる。</p> <p data-bbox="1478 840 2356 898">(3) 不適合を除去するための処置を施した場合は、要求事項への適合性を実証するための検証を行う。</p> <p data-bbox="1478 903 2356 995">(4) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長は、不適合の性質の記録及び不適合に対してとられた特別採用を含む処置の記録を作成し、管理する(「4.2.4 記録の管理」参照)。</p> <p data-bbox="1478 999 2356 1092">(5) 所長は、廃棄物管理施設の保安の向上を図る観点から、事故故障等を含む不適合をその内容に応じて、「大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領」に定める不適合の公開の基準に従い、情報の公開を行う。</p> <p data-bbox="1478 1096 2356 1155">(6) 安全管理部長は、前項の情報の公開を受け、不適合に関する情報をホームページに公開する。</p> <p data-bbox="1448 1188 1745 1218">8.4 データの分析及び評価</p> <p data-bbox="1478 1222 2356 1440">(1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、品質マネジメントシステムの適切性及び有効性を実証するため、また、品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善の可能性を評価するために、表 8.4 品質マネジメントシステムの分析データに示すデータを収集し、分析する。この中には、監視及び測定(「8.2 監視及び測定」参照)の結果から得られたデータ及びそれ以外の不適合管理(「8.3 不適合管理」参照)等の情報源からのデータを含める。</p> <p data-bbox="1478 1444 2356 1503">(2) 前項のデータの分析及びこれらに基づく評価を行い、次の事項に関連する改善のための情報を得る。</p> <p data-bbox="1507 1507 2356 1566">(a) 組織の外部の者からの意見の傾向及び特徴その他分析より得られる知見(「8.2.1 組織の外部の者の意見」参照)</p> <p data-bbox="1507 1570 2356 1629">(b) 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項への適合性(「8.2.3 プロセスの監視及び測定」及び「8.2.4 検査及び試験」参照)</p> <p data-bbox="1507 1633 2356 1692">(c) 是正処置の機会を得ることを含む、プロセス及び廃棄物管理施設の特性及び傾向(「8.2.3 プロセスの監視及び測定」及び「8.2.4 検査及び試験」参照)</p> <p data-bbox="1507 1696 1899 1726">(d) 供給者の能力(「7.4 調達」参照)</p> <p data-bbox="1478 1730 2356 1759">(3) 部長及び課長は、データ分析の情報及びその結果を整理し、センター長及び所</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1481 285 2389 420"> <tr> <td data-bbox="1481 285 1932 327">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 285 2389 327">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1481 327 2389 369">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1481 369 1783 411">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 369 2086 411">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2086 369 2389 411">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 457 2362 548">長を通じて研究所の管理責任者に報告するとともに、所掌する業務の改善に反映する。また、安全管理部長、契約部長及び統括監査の職は、それぞれの管理責任者に報告するとともに、所掌する業務の改善に反映する。</p> <p data-bbox="1481 552 2362 613">(4) 管理責任者は、報告のあった情報をマネジメントレビューへのインプット（「5.6.2 マネジメントレビューへのインプット」参照）に反映する。</p> <p data-bbox="1451 648 1564 674">8.5 改善</p> <p data-bbox="1451 680 1656 705">8.5.1 継続的改善</p> <p data-bbox="1451 711 2362 898">理事長、管理責任者、安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、品質方針（「5.3 品質方針」参照）、品質目標（「5.4.1 品質目標」参照）、監査結果（「8.2.2 内部監査」参照）、データの分析（「8.4 データの分析及び評価」参照）、是正処置（「8.5.2 是正処置等」参照）、未然防止処置（「8.5.3 未然防止処置」参照）及びマネジメントレビュー（「5.6 マネジメントレビュー」参照）を通じて、品質マネジメントシステムの有効性を向上させるために継続的に改善する。</p> <p data-bbox="1451 934 1656 959">8.5.2 是正処置等</p> <p data-bbox="1451 966 2362 1089">安全管理部長、所長及び部長は、不適合等の是正処置の手順（根本的な原因を究明するための分析に関する手順を含む。）に関して、本部は「不適合管理並びに是正及び未然防止処置要領」に、研究所は「大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領」に定め、次の事項を管理する。</p> <ol data-bbox="1481 1094 2362 1759" style="list-style-type: none"> (1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、センター長、部長及び課長は、検出された不適合及びその他の事象（以下「不適合等」という。）の再発防止のため、原子力の安全に及ぼす影響に応じて、不適合等の原因を除去する是正処置を行う。 (2) 是正処置の必要性の評価及び実施について、次に掲げる手順により行う。 <ol style="list-style-type: none"> (a) 不適合等のレビュー及び分析（情報を収集及び整理すること並びに技術的、人的、組織的側面等を考慮することを含む。） (b) 不適合等の原因（関連する要因を含む。）の特定 (c) 類似の不適合等の有無又は当該不適合等が発生する可能性の明確化 (d) 必要な処置の決定及び実施 (e) とった是正処置の有効性のレビュー (3) 必要に応じ、次の事項を考慮する。 <ol style="list-style-type: none"> (a) 計画において決定した保安活動の改善のために実施した処置の変更 (b) 品質マネジメントシステムの変更 (4) 原子力の安全に及ぼす影響が大きい不適合（単独の事象では原子力の安全に及ぼす影響の程度は小さいが、同様の事象が繰り返し発生することにより、原子力の安全に及ぼす影響の程度が増大するおそれのあるものを含む。）に関しては、根本的な原因を究明するための分析の手順に従い、分析を実施する。 (5) 全ての是正処置及びその結果に係る記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。 (6) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長は、複数の不適 | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------|-------------|--|------------------------|--|--|-----------------|----------------|---------|--|
| | <table border="1" data-bbox="1478 289 2386 424"> <tr> <td data-bbox="1478 289 1932 331">日本原子力研究開発機構</td> <td colspan="2" data-bbox="1932 289 2386 331">文書番号:QS-P08</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1478 331 2386 373">文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 373 1783 415">制定日:2006年11月30日</td> <td data-bbox="1783 373 2089 415">改訂日:2022年3月10日</td> <td data-bbox="2089 373 2386 415">改訂番号:19</td> </tr> </table> <p data-bbox="1507 464 2362 525">合等の情報について、必要により類似する事象を抽出し、分析を行い、その結果から共通する原因が認められた場合、適切な処置を行う。</p> <p data-bbox="1448 558 1679 583">8.5.3 未然防止処置</p> <p data-bbox="1448 590 2362 711">安全管理部長、センター長、所長及び部長は、他の原子力施設及びその他の施設から得られた知見を保安活動に反映するために未然防止処置の手順に関して、本部は「不適合管理並びに是正及び未然防止処置要領」に、研究所は「大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領」に定め、次の事項を管理する。</p> <p data-bbox="1478 718 2362 840">(1) 安全管理部長、統括監査の職、契約部長、所長、部長及び課長は、原子力施設及びその他の施設の運転経験等の知見（核燃料物質の使用等に係る技術情報を含む。）を収集し、起こり得る不適合の重要性に応じて、次に掲げる手順により、未然防止処置を行う。</p> <p data-bbox="1537 846 2362 907">この活用には、得られた知見や技術情報を他の廃棄事業者と共有することも含む。</p> <p data-bbox="1507 913 2362 1035">(a) 起こり得る不適合及びその原因についての調査 (b) 不適合の発生を予防するための処置の必要性の評価 (c) 必要な処置の決定及び実施 (d) とった未然防止処置の有効性のレビュー</p> <p data-bbox="1478 1041 2362 1102">(2) 全ての未然防止処置及びその結果に係る記録を作成し、管理する（「4.2.4 記録の管理」参照）。</p> <p data-bbox="1902 1822 1941 1848">25</p> | 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | |
| 日本原子力研究開発機構 | 文書番号:QS-P08 | | | | | | | | | | |
| 文書名 廃棄物管理施設品質マネジメント計画書 | | | | | | | | | | | |
| 制定日:2006年11月30日 | 改訂日:2022年3月10日 | 改訂番号:19 | | | | | | | | | |

変更前 (既許可)

変更後

備考

文書番号: QS-P08 改訂番号: 19

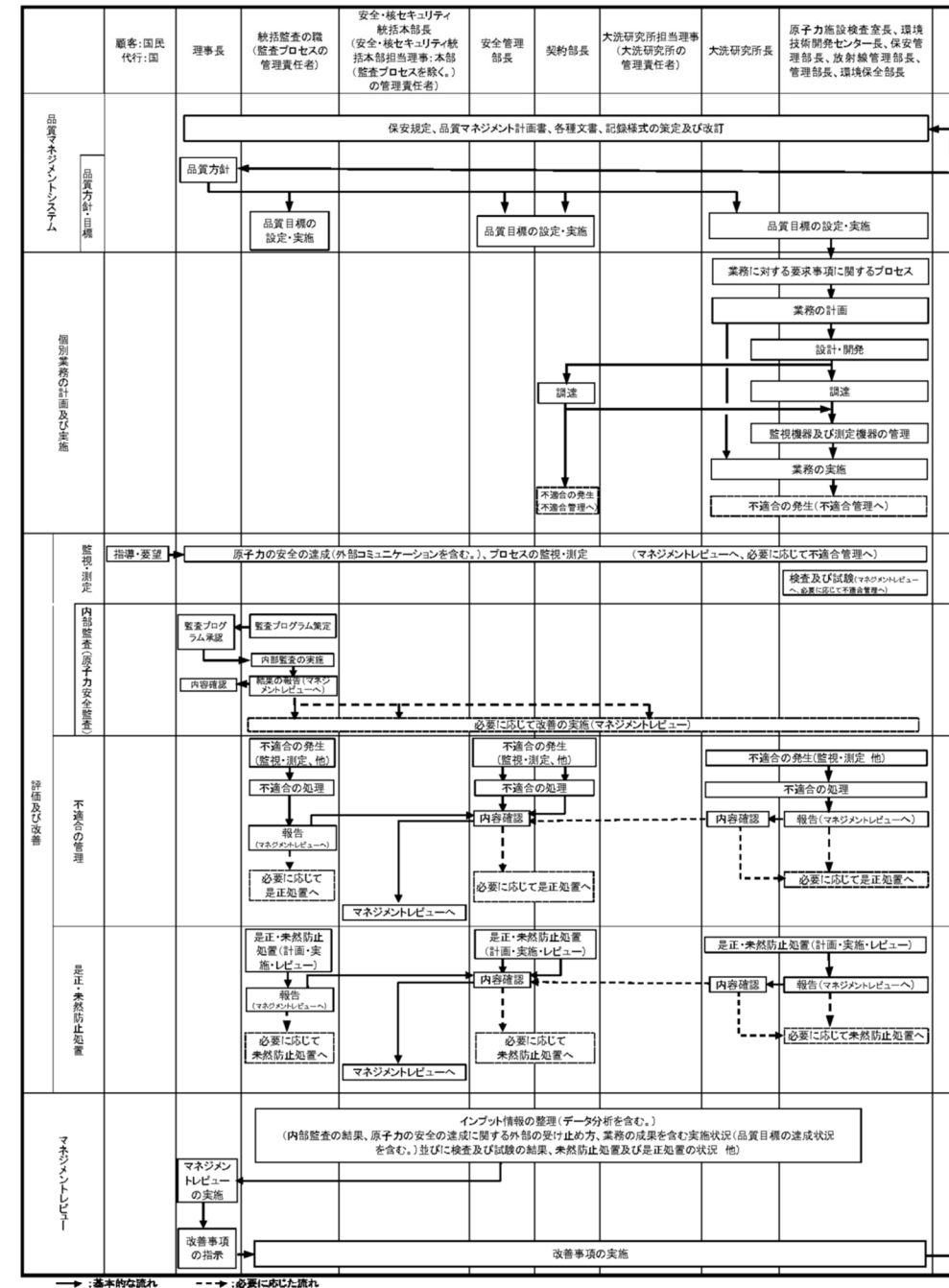


図4.1 品質マネジメントシステム体系図

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 |
|-----------|---|----|
| | <p style="text-align: right;">文書番号:QS-P08 改訂番号:19</p> <p>4. 品質マネジメントシステム (4.1 一般要求事項)</p> <p>5. 経営者等の責任</p> <p>Plan</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.1 経営者の関与 5.2 原子力の安全の重視 5.3 品質方針 5.4 計画 <ul style="list-style-type: none"> 5.4.1 品質目標 5.4.2 品質マネジメントシステムの計画 5.5 責任、権限及びコミュニケーション 5.6 マネジメントレビュー <p>Do 7. 業務の計画及び実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 7.1 業務の計画 <ul style="list-style-type: none"> 7.1.1 運転管理、核燃料物質等の管理、放射線管理、放射性廃棄物の管理、保守管理、非常の場合に講ずべき処置 7.2 業務・廃棄物管理施設に対する要求事項に関するプロセス 7.3 設計・開発 7.4 調達 7.5 業務の実施 7.6 監視機器及び測定機器の管理 4.2 文書化に関する要求事項 6. 資源の運用管理 <ul style="list-style-type: none"> 6.1 資源の確保 6.2 人的資源 6.3 インフラストラクチャ 6.4 作業環境 <p>Check, Act 8. 評価及び改善 (8.1 一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8.2 監視及び測定 <ul style="list-style-type: none"> 8.2.1 組織の外部の者の意見 8.2.2 内部監査 8.2.3 プロセスの監視及び測定 8.2.4 検査及び試験 8.3 不適合管理 8.4 データの分析及び評価 8.5 継続的改善 <ul style="list-style-type: none"> 8.5.1 継続的改善 8.5.2 是正処置等 8.5.3 未然防止処置 <p> 基本プロセス 中プロセス 中プロセス → :明確な関連 - - - :理解上重要な関連 </p> <p style="text-align: center;">図 4.2 廃棄物管理施設品質マネジメントシステムプロセス関連図</p> | |

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 |
|-----------|--|----|
| | <p style="text-align: right;">文書番号: QS-P08 改訂番号: 19</p> <p style="text-align: center;">図 5.5.1 大洗研究所廃棄物管理施設保安管理組織図</p> | |

変更前 (既許可)

変更後

備考

表 4.2.1 品質マネジメントシステム文書体系

文書番号: QS-P08 改訂番号: 19

| 品質マネジメント計画書 (一次文書) | 本部 (二次文書) | 大洗研究所 (二次文書) | 原子力施設検査室 (二次文書) | 保安管理部 (二次文書) | 放射線管理部 (二次文書) | 管理部 (二次文書) | 建設段階 (二次文書) | 稼働後全部 (二次文書) |
|-----------------------|--|--|---------------------|---------------------------------------|---|----------------|---|---------------------------------------|
| 4.1 一般要求事項 | — | — | 総則 (大洗-QAM-01) | 総則 (保安-QAM-01) 重要度分類要領 (保安-QAM-02) | 総則 (放射線-QAM-01) 重要度分類要領 (放射線-QAM-02) | 総則 (管理-QAM-01) | 総則 (OWTF-QAM-01) 重要度分類要領 (OWTF-QAM-02) | 総則 (稼管-QAM-01) 重要度分類要領 (稼管-QAM-02) |
| 4.2.3 文書管理 | 文書及び記録管理要領 (QS-A01) | 大洗研究所文書及び記録の管理要領 (大洗-QAM-01) | — | — | — | — | — | — |
| 4.2.4 記録の管理 | 安全文化の育成及び維持並びに関係法令等の遵守活動に係る実施要領 (QS-A02) | 安全文化の育成及び維持並びに関係法令等の遵守活動 規則 (大洗-QAM-23) | — | — | — | — | — | — |
| 5.1 経営者の関与 | 品質目標の設定管理要領 (QS-A03) | — | — | — | — | — | — | — |
| 5.4.1 品質目標 | 品質目標の設定管理要領 (QS-A03) | — | — | — | — | — | — | — |
| 5.5.4 内部コミュニケーション | 中島安全委員・品質保証委員会の運営について (QS-A04) | 原子力施設等安全委員会規則 (大洗-QAM-12) 品質保証推進委員会規則 (大洗-QAM-11) | — | — | — | — | — | — |
| 5.6 マネジメントレビュー | マネジメントレビュー実施要領 (QS-P02) | — | — | — | — | — | — | — |
| 6.2.2 力量、教育、訓練及び認識 | 教育訓練管理要領 (QS-A07) | 大洗研究所教育・訓練管理要領 (大洗-QAM-07) | — | — | — | — | — | — |
| 7.1 業務の計画 | 業務の計画及び実施管理要領 (QS-A12) | 事故対策規則 (大洗-QAM-2) 1) 大洗研究所放射線安全取扱手引 (大洗-QAM-6) 大洗研究所内放射線物質等運搬規則 (大洗-QAM-22) 大洗研究所放射性廃棄物管理要領 (大洗-QAM-31) 大洗研究所T1.1 年度評価要領 (大洗-QAM-32) 大洗研究所T1.1-アセスメント要領 (大洗-QAM-25) | 業務の管理要領 (大洗-QAM-08) | 運転及び保守の管理要領 (保安-QAM-09) | 運転及び保守の管理要領 (放射線-QAM-09) | — | — | — |
| 7.2.3 外部とのコミュニケーション | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 7.3 設計・開発 | 調達者の評価・選定管理要領 (QS-G01) | 大洗研究所調達管理要領 (大洗-QAM-02) | — | — | — | — | — | — |
| 7.4 調達 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 7.5 業務の実施 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 7.6 監視機器及び測定機器の管理 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 8.2.2 内部監査 | 原子力安全監査実施要領 (QS-P03) | 大洗研究所原子力施設・設備内部監査実施要領 (大洗-QAM-41) 大洗研究所設備検査要領 (大洗-QAM-42) | — | — | — | — | — | — |
| 8.2.4 検査及び試験 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 8.3 不適合管理 | 不適合管理並びに是正及び未然防止処置要領 (QS-A05) | 大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗-QAM-03) | — | — | — | — | — | — |
| 8.5.2 是正処置等 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 8.5.3 未然防止処置 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| 変更前（既許可） | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--|--|--|-------------------------------|-------------------------|---|--|--------------------|-----------|-------------------------|----|---------------|--------------|----|--------------|----|---------------|----------------|-----------------------|---------------------|----------------|---------------|------|--------|-----------------|----------------------------------|------|--|-----------------|-----------|-------------------------------|----------|---|--|-------|-----------|---------|--|--|---------------------|-------------------------|--------------------------------|-------------------|----------------|-----------|-----------------------------|--------------------------|----------------|-------|-----------------------|------------------|----------------|------------------------|--------------|--------------|-----------|-------------|---------------|---------|-----|--------------------------|-----------------|----------------------------|---------|-------------------------|--|--------|--------------------|-----------|--------------------|--|
| | <p style="text-align: right;">文書番号:QS-P08 改訂番号:19</p> <p style="text-align: center;">表 8.2.3 品質マネジメントシステムのプロセスの監視及び測定</p> <table border="1" data-bbox="1439 378 2448 1459"> <thead> <tr> <th>監視・測定するプロセス</th> <th>監視・測定の実施責任者</th> <th>計画されたプロセスと結果</th> <th>監視項目</th> <th>評価方法と頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">品質マネジメントシステム</td> <td>理事長</td> <td>品質方針、品質目標の設定及び実施状況</td> <td rowspan="4">品質目標の達成状況</td> <td>マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて）</td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td rowspan="3">品質目標の設定及び実施状況</td> <td>所長承認 半期ごと</td> </tr> <tr> <td>部長</td> <td>部長承認 半期ごと</td> </tr> <tr> <td>課長</td> <td>部長へ報告 半期ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">業務の計画及び実施のプロセス</td> <td>建設段階の品質マネジメント活動に関する業務</td> <td>建設段階に係る業務の計画の策定及び実施</td> <td>建設段階に係る業務の実施状況</td> <td>部長へ報告 年度ごと</td> </tr> <tr> <td>運転管理</td> <td>環境保全部長</td> <td>年間放射性廃棄物処理計画の作成</td> <td>放射性廃棄物処理の実施状況 センター長承認 年度ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保守管理</td> <td rowspan="2">廃棄物管理課長 減容処理施設準備室長 環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長</td> <td rowspan="2">施設管理実施計画の策定及び実施</td> <td rowspan="2">施設管理の実施状況</td> <td rowspan="2">環境保全部長承認 放射線管理部長承認 年度ごと</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の管理</td> <td>核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬</td> <td>核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬の実施状況</td> <td>運搬の都度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">放射性廃棄物の管理</td> <td rowspan="3">廃棄物管理課長</td> <td rowspan="3">・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施</td> <td rowspan="3">・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施状況</td> <td rowspan="3">廃棄物管理課長の確認 廃棄の都度</td> </tr> <tr> <td>環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長</td> <td>・放射性液体廃棄物の年間の放出管理目標値に係る放出管理の実施</td> <td>・放射性液体廃棄物の年間の放出状況</td> <td>課長へ通知 四半期ごと</td> </tr> <tr> <td>放射線管理第2課長</td> <td>・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出管理の実施</td> <td>・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出状況</td> <td>課長へ通知 四半期ごと</td> </tr> <tr> <td>放射線管理</td> <td>廃棄物管理課長 環境監視線量計測課長</td> <td>放射線業務従事者の線量限度の管理</td> <td>放射線業務従事者の被ばく状況</td> <td>所長へ報告 年度ごと 四半期ごと</td> </tr> <tr> <td>非常の場合に講ずべき処置</td> <td>課長 危機管理課長</td> <td>総合的な訓練の計画</td> <td>総合的な訓練の実施状況</td> <td>所長へ報告 年度ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">改善のプロセス</td> <td rowspan="2">理事長</td> <td rowspan="2">品質マネジメント計画の適合性の確保、有効性の改善</td> <td>品質マネジメント活動の実施状況</td> <td>原子力安全監査 毎年度1回以上又は必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>不適合管理状況</td> <td>マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全ての管理者</td> <td>品質マネジメントシステムの有効性評価</td> <td>自己評価の実施状況</td> <td>年1回以上（年度末及び必要に応じて）</td> </tr> </tbody> </table> | 監視・測定するプロセス | 監視・測定の実施責任者 | 計画されたプロセスと結果 | 監視項目 | 評価方法と頻度 | 品質マネジメントシステム | 理事長 | 品質方針、品質目標の設定及び実施状況 | 品質目標の達成状況 | マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて） | 所長 | 品質目標の設定及び実施状況 | 所長承認 半期ごと | 部長 | 部長承認 半期ごと | 課長 | 部長へ報告 半期ごと | 業務の計画及び実施のプロセス | 建設段階の品質マネジメント活動に関する業務 | 建設段階に係る業務の計画の策定及び実施 | 建設段階に係る業務の実施状況 | 部長へ報告 年度ごと | 運転管理 | 環境保全部長 | 年間放射性廃棄物処理計画の作成 | 放射性廃棄物処理の実施状況 センター長承認 年度ごと | 保守管理 | 廃棄物管理課長 減容処理施設準備室長 環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長 | 施設管理実施計画の策定及び実施 | 施設管理の実施状況 | 環境保全部長承認 放射線管理部長承認 年度ごと | 核燃料物質の管理 | 核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬 | 核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬の実施状況 | 運搬の都度 | 放射性廃棄物の管理 | 廃棄物管理課長 | ・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施 | ・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施状況 | 廃棄物管理課長の確認 廃棄の都度 | 環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長 | ・放射性液体廃棄物の年間の放出管理目標値に係る放出管理の実施 | ・放射性液体廃棄物の年間の放出状況 | 課長へ通知 四半期ごと | 放射線管理第2課長 | ・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出管理の実施 | ・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出状況 | 課長へ通知 四半期ごと | 放射線管理 | 廃棄物管理課長 環境監視線量計測課長 | 放射線業務従事者の線量限度の管理 | 放射線業務従事者の被ばく状況 | 所長へ報告 年度ごと 四半期ごと | 非常の場合に講ずべき処置 | 課長 危機管理課長 | 総合的な訓練の計画 | 総合的な訓練の実施状況 | 所長へ報告 年度ごと | 改善のプロセス | 理事長 | 品質マネジメント計画の適合性の確保、有効性の改善 | 品質マネジメント活動の実施状況 | 原子力安全監査 毎年度1回以上又は必要に応じて | 不適合管理状況 | マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて） | | 全ての管理者 | 品質マネジメントシステムの有効性評価 | 自己評価の実施状況 | 年1回以上（年度末及び必要に応じて） | |
| 監視・測定するプロセス | 監視・測定の実施責任者 | 計画されたプロセスと結果 | 監視項目 | 評価方法と頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品質マネジメントシステム | 理事長 | 品質方針、品質目標の設定及び実施状況 | 品質目標の達成状況 | マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所長 | 品質目標の設定及び実施状況 | | 所長承認 半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 部長 | | | 部長承認 半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 課長 | | | 部長へ報告 半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務の計画及び実施のプロセス | 建設段階の品質マネジメント活動に関する業務 | 建設段階に係る業務の計画の策定及び実施 | 建設段階に係る業務の実施状況 | 部長へ報告 年度ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 運転管理 | 環境保全部長 | 年間放射性廃棄物処理計画の作成 | 放射性廃棄物処理の実施状況 センター長承認 年度ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 保守管理 | 廃棄物管理課長 減容処理施設準備室長 環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長 | 施設管理実施計画の策定及び実施 | 施設管理の実施状況 | 環境保全部長承認 放射線管理部長承認 年度ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 核燃料物質の管理 | 核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬 | 核燃料物質によって汚染された物及び廃棄物管理施設内で発生した放射性廃棄物の運搬の実施状況 | 運搬の都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 放射性廃棄物の管理 | 廃棄物管理課長 | ・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施 | ・放射性廃棄物の受入れ、廃棄物管理施設で発生した放射性廃棄物の管理、放射性廃棄物の処理の実施状況 | 廃棄物管理課長の確認 廃棄の都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 環境監視線量計測課長 放射線管理第2課長 | ・放射性液体廃棄物の年間の放出管理目標値に係る放出管理の実施 | ・放射性液体廃棄物の年間の放出状況 | 課長へ通知 四半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 放射線管理第2課長 | ・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出管理の実施 | ・放射性気体廃棄物の放出管理基準値に係る放出状況 | 課長へ通知 四半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 放射線管理 | 廃棄物管理課長 環境監視線量計測課長 | 放射線業務従事者の線量限度の管理 | 放射線業務従事者の被ばく状況 | 所長へ報告 年度ごと 四半期ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常の場合に講ずべき処置 | 課長 危機管理課長 | 総合的な訓練の計画 | 総合的な訓練の実施状況 | 所長へ報告 年度ごと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 改善のプロセス | 理事長 | 品質マネジメント計画の適合性の確保、有効性の改善 | 品質マネジメント活動の実施状況 | 原子力安全監査 毎年度1回以上又は必要に応じて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不適合管理状況 | | | | マネジメントレビュー（年度末及び必要に応じて） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 全ての管理者 | 品質マネジメントシステムの有効性評価 | 自己評価の実施状況 | 年1回以上（年度末及び必要に応じて） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--|--------|-----------------------|------------|--|--|-------------|--|--|-------------------------|---|--|----------------|--|--|------------|---|--|--|
| | <p style="text-align: right;">文書番号:QS-P08 改訂番号:19</p> <p style="text-align: center;">表8.4 品質マネジメントシステムの分析データ</p> <table border="1" data-bbox="1448 373 2398 1833"> <thead> <tr> <th data-bbox="1448 373 1706 394">データ</th> <th data-bbox="1706 373 2041 394">関連する文書</th> <th data-bbox="2041 373 2398 394">8.4データの分析及び評価(2)との関連*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1448 394 1706 751">施設設備等の運転状況</td> <td data-bbox="1706 394 2041 751"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (廃管-QAM-07) ・廃棄物管理施設の建設段階における監視機器及び測定機器の管理要領 (OWTF-QAM-07) </td> <td data-bbox="2041 394 2398 751"> (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1448 751 1706 961">核燃料物質等の管理状況</td> <td data-bbox="1706 751 2041 961"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性物質等運搬規則 (大洗 QAM-22) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) </td> <td data-bbox="2041 751 2398 961"> (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1448 961 1706 1255">放射性廃棄物 (固体、気体、液体) の管理状況</td> <td data-bbox="1706 961 2041 1255"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性廃棄物管理要領 (大洗 QAM-81) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境 QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) </td> <td data-bbox="2041 961 2398 1255"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1448 1255 1706 1423">放射線業務従事者の被ばく状況</td> <td data-bbox="1706 1255 2041 1423"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) </td> <td data-bbox="2041 1255 2398 1423"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1448 1423 1706 1833">保守管理の有効性評価</td> <td data-bbox="1706 1423 2041 1833"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所原子炉施設、核燃料物質使用施設、廃棄物管理施設独立検査組織運営規則 (大洗 QAM-41) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (放管部-QAM-06) ・検査及び試験の管理要領 (放管部-QAM-08) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) </td> <td data-bbox="2041 1423 2398 1833"> (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> </tbody> </table> | データ | 関連する文書 | 8.4データの分析及び評価(2)との関連* | 施設設備等の運転状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (廃管-QAM-07) ・廃棄物管理施設の建設段階における監視機器及び測定機器の管理要領 (OWTF-QAM-07) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | 核燃料物質等の管理状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性物質等運搬規則 (大洗 QAM-22) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | 放射性廃棄物 (固体、気体、液体) の管理状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性廃棄物管理要領 (大洗 QAM-81) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境 QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) | | 放射線業務従事者の被ばく状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) | | 保守管理の有効性評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所原子炉施設、核燃料物質使用施設、廃棄物管理施設独立検査組織運営規則 (大洗 QAM-41) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (放管部-QAM-06) ・検査及び試験の管理要領 (放管部-QAM-08) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | |
| データ | 関連する文書 | 8.4データの分析及び評価(2)との関連* | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設設備等の運転状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (廃管-QAM-07) ・廃棄物管理施設の建設段階における監視機器及び測定機器の管理要領 (OWTF-QAM-07) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 核燃料物質等の管理状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性物質等運搬規則 (大洗 QAM-22) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射性廃棄物 (固体、気体、液体) の管理状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所放射性廃棄物管理要領 (大洗 QAM-81) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境 QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線業務従事者の被ばく状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保守管理の有効性評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所 PI 設定評価要領 (大洗 QAM-24) ・大洗研究所原子炉施設、核燃料物質使用施設、廃棄物管理施設独立検査組織運営規則 (大洗 QAM-41) ・監視機器及び測定機器の管理要領 (放管部-QAM-06) ・検査及び試験の管理要領 (放管部-QAM-08) ・運転及び保守の管理要領 (放管部-QAM-09) ・廃棄物管理施設等運転手引 (廃管-QAM-11) ・環境保全部における業務の管理要領 (環境-QAM-09) ・保守管理要領 (廃管-QAM-12) | (b)「8.2.3プロセスの監視及び測定」、 「8.2.4検査及び試験」 (c)「8.2.3プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 (既許可) | 変更後 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--------|------------------------|------------------------------|---|--|---------------|--|---|--------------------|--|---|-----|--|---|------------|---|--------------------|--|
| | <p style="text-align: right;">文書番号:QS-P08 改訂番号:19</p> <table border="1" data-bbox="1442 344 2398 968"> <thead> <tr> <th data-bbox="1442 344 1703 365">データ</th> <th data-bbox="1703 344 2039 365">関連する文書</th> <th data-bbox="2039 344 2398 365">8.4 データの分析及び評価(2)との関連*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1442 365 1703 464">非常の場合に講ずべき処置についての総合的な訓練の実施状況</td> <td data-bbox="1703 365 2039 464"> <ul style="list-style-type: none"> ・事故対策規則 (大洗 QAM-21) ・大洗研究所教育訓練管理要領 (大洗 QAM-07) </td> <td data-bbox="2039 365 2398 464"> (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (b) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 464 1703 537">原子力規制検査の指摘事項等</td> <td data-bbox="1703 464 2039 537"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) </td> <td data-bbox="2039 464 2398 537"> (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 537 1703 751">官庁検査、定期事業者検査等での不適合</td> <td data-bbox="1703 537 2039 751"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) ・検査及び試験の管理要領 (廃管-QAM-08) ・廃棄物管理施設の建設段階における検査及び試験の管理要領 (OWTF-QAM-08) </td> <td data-bbox="2039 537 2398 751"> (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 751 1703 850">不適合</td> <td data-bbox="1703 751 2039 850"> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) </td> <td data-bbox="2039 751 2398 850"> (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 850 1703 968">調達先の監査実施状況</td> <td data-bbox="1703 850 2039 968"> <ul style="list-style-type: none"> ・調達先の評価・選定管理要領 (QS-G01) ・大洗研究所調達管理要領 (大洗 QAM-02) </td> <td data-bbox="2039 850 2398 968">(d) 供給者の能力「7.4 調達」</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1442 974 2398 1024">* 8.4 データの分析及び評価に係る改善のための情報の評価は、8.4 データの分析及び評価(2)の(a),(b),(c)を参照</p> | データ | 関連する文書 | 8.4 データの分析及び評価(2)との関連* | 非常の場合に講ずべき処置についての総合的な訓練の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故対策規則 (大洗 QAM-21) ・大洗研究所教育訓練管理要領 (大洗 QAM-07) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (b) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | 原子力規制検査の指摘事項等 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | 官庁検査、定期事業者検査等での不適合 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) ・検査及び試験の管理要領 (廃管-QAM-08) ・廃棄物管理施設の建設段階における検査及び試験の管理要領 (OWTF-QAM-08) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | 不適合 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | 調達先の監査実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・調達先の評価・選定管理要領 (QS-G01) ・大洗研究所調達管理要領 (大洗 QAM-02) | (d) 供給者の能力「7.4 調達」 | |
| データ | 関連する文書 | 8.4 データの分析及び評価(2)との関連* | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常の場合に講ずべき処置についての総合的な訓練の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故対策規則 (大洗 QAM-21) ・大洗研究所教育訓練管理要領 (大洗 QAM-07) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (b) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子力規制検査の指摘事項等 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官庁検査、定期事業者検査等での不適合 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) ・検査及び試験の管理要領 (廃管-QAM-08) ・廃棄物管理施設の建設段階における検査及び試験の管理要領 (OWTF-QAM-08) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不適合 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洗研究所不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領 (大洗 QAM-03) | (a) 「8.2.1 組織の外部の者の意見」 (c) 「8.2.3 プロセスの監視及び測定」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調達先の監査実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・調達先の評価・選定管理要領 (QS-G01) ・大洗研究所調達管理要領 (大洗 QAM-02) | (d) 供給者の能力「7.4 調達」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |